

426/134

4

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-144087

(P2003-144087A)

(43)公開日 平成15年5月20日 (2003.5.20)

(51)Int.Cl'

A 23 L 1/22

識別記号

F I

A 23 L 1/22

テータコード(参考)

F 4B047

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全2頁)

(21)出願番号

特願2001-390655(P2001-390655)

(22)出願日

平成13年11月15日 (2001.11.15)

(71)出願人 501492258

戸谷 徹

長野県上田市上田原969-1-2

(71)出願人 501492281

鈴木 哲朗

長野県小県郡丸子町西内鹿教湯1411-8

(72)発明者 戸谷 徹

長野県上田市上田原969-1-2

(72)発明者 鈴木 哲朗

長野県小県郡丸子町西内鹿教湯1411-8

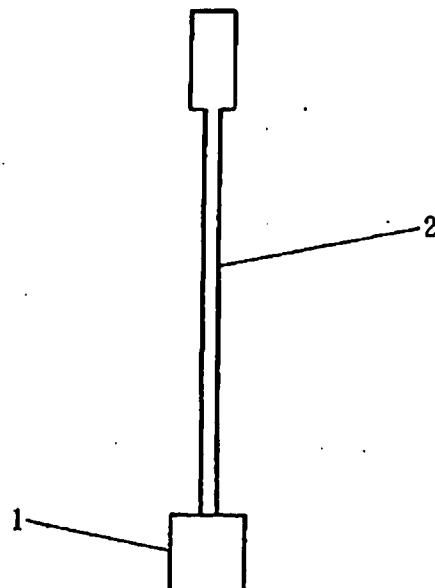
Fターム(参考) 4B047 LG24 LP09 LP20

(54)【発明の名称】ステア・シュガー

(57)【要約】

【課題】従来は、砂糖とマドラーは、別々のものだったので、戸外などで、ステアするものが無いとき不便であった。

【解決手段】本発明は、固形化した砂糖にマドラー（またはスプーン）を付けることにより、砂糖の他にスプーンなどのマドラーを用意する手間を省くものである。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 固形化した砂糖にプラスティックのマドラーを付け、そのまま使えるようにしたマドラー付き砂糖。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 飲料物調味料の加工

【0002】

【従来の技術】 固形化した砂糖にマドラーが付いたものが無かった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 戸外にいる時など、ステアする物が無いとき、不便であった。

【0004】

【課題を解決するための手段】 砂糖を固形化し、マドラーと一緒に化させる。

## 【0005】

【発明の実施の形態】 マドラーの先に固形化した砂糖を付ける。

## 【0006】

【発明の効果】 このようなマドラー付きシュガーがあれば、戸外などでコーヒーや紅茶を飲む際スプーンを別に用意する必要がないのでたいへん便利である。また、途中で取り出しが出来るので、甘さを調節することも可能である。

## 10 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の正面図である。

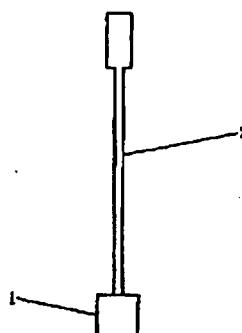
【図2】 本発明の側面図である。

## 【符号の説明】

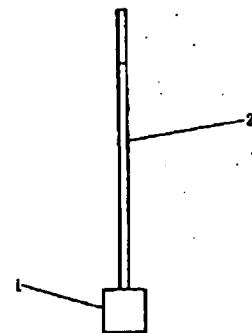
1 固形化した砂糖

2 プラスティック製のマドラー

【図1】



【図2】



PAT-NO: JP02003144087A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2003144087 A

TITLE: **STIR SUGAR**

PUBN-DATE: May 20, 2003

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TOTANI, TORU	N/A
SUZUKI, TETSURO	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TOTANI TORU	N/A
SUZUKI TETSURO	N/A

APPL-NO: JP2001390655

APPL-DATE: November 15, 2001

INT-CL (IPC): A23L001/22

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To solve the problem that sugar and a muddler (swizzle stick) are usually separated and it is inconvenient without a stirring tool outdoor.

SOLUTION: The muddler (or a spoon) is fitted to solidified sugar to save labor for preparing the muddler such as the spoon or the like in addition to sugar.

COPYRIGHT: (C)2003,JPO